研修コード： 918　　申込期限：R7.7.18

【集合】合同・やさしい日本語～誰にでもわかりやすい文書を作成してみよう～

● **研修のねらい**

・県内在住外国人に、自治体が発信する情報を確実に届けるため、行政窓口等で使う「分かりやすく、やさしい」日本語を習得する。

● **この研修のおすすめポイント**

「多言語」は特定の人にしか発信できませんが、「やさしい日本語」は少しの訓練で誰でも使えるようになります。
在住外国人の７割以上が、大事なことは「やさしい日本語」で書かれてあれば理解できると答えています。
「やさしい日本語」は、日常的にも災害などの緊急時も、誰にでもわかりやすく伝えることができます。外国人はもちろんですが、こどもや高齢者、障がいのある方へ伝える時にも役立ちます。

● **日程・開催場所**

令和７年９月８日（月）自治総合研修センター

● **予定人員**

３０人（県１０人，市町２０人）

● **対象者**

（県・市町）希望する職員

● **講師（予定）**

≪ひろしま国際センター日本語常勤講師　犬飼　康弘≫
広島大学大学院教育学研究科博士課程前期修了。在学中から地域日本語教室に参加するなど、地域との関わりを持つ。1997 年より(公財)ひろしま国際センターにて日本語教育に従事。対象者は、留学生、技術研修員など様々。地域においても、広島県内を中心に、日本語ボランティア講座等を担当。2015 年度より一般財団法人自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー、2016 年度より文化庁 地域日本語教育スタートアッププログラム 日本語教育施策推進アドバイザーを務める。

● **標準プログラム**

１日　　合計３．０時間
13：25 － 13：30 オリエンテーション
13：30 － 16：30 やさしい日本語
16：30 － 16：45 閉講

◇受講者の声

・座学の講義だけでなくグループワークを通して事例を考えられたので、自分の業務の中での使うポイントなどをイメージしやすかった。
・非常に端的でわかりやすかったです。情報量が多すぎないので自分に取り入れてみよう、実践してみようと思えました。